

2005 サステナブル建築世界会議東京大会について

1. 概要

名称：2005 サステナブル建築世界会議東京大会（略称 SB05Tokyo）
期間：2005 年（平成 17 年）9 月 27 日（火）～9 月 29 日（木）
会場：新高輪プリンスホテル 国際館パミール（東京都港区高輪）
主催：国土交通省
共催：建築研究国際協議会（CIB）、国際サステナブル建築環境推進機構（iiSBE）、国際連合環境計画（UNEP）
協賛・後援：57 の公的団体、(国際機関 11、政府機関 6、学会 6 等)
参加者：登録者数 1,709 人（海外 1,164 人、日本 545 人）
79 ヶ国と 3 地域 (2005 年 9 月 21 日現在)

別添

2. 背景

経緯：1998 年 10 月 バンクーバー（カナダ天然資源省） GBC'98
(主催) 2000 年 10 月 マストリヒト（オランダ住宅環境省） SB2000
2002 年 9 月 オスロ（国家エコビルド計画） SB2002
2005 年 9 月 東京（国土交通省） SB05Tokyo
意義：東京は、世界で初めて 1 千万人（1962 年）に達した都市で、これまでの「スクラップ・アンド・ビルド」から脱却し、持続可能な都市再生を模索中である。また、世界人口の 6 割が居住し、高密度な巨大都市が多数出現しているアジアで、持続可能性は今後重要なテーマ。今回はアジアで初の世界会議開催。

3. 内容

スローガン：「Action for Sustainability」
「今こそ行動を 持続可能な世界に向かって」
(主旨)「これまでに開発し、蓄積してきた知識や技術を、今こそ私たち全員で実行に移す時」という意志を表している。そこで、SB05Tokyo では一方的な発表でなく、建築家、技術者、建築主、利用者等、多様な参加者との間での建設的な議論を重視。

コンセプト：3 つのギャップの橋渡し（地域間、当事者間、世代間のギャップ、さらに環境、経済、社会的側面間のギャップも克服）
全体コンセプト「WA、和」（調和、共生、協働など）をロゴにも使用。

プログラム（9 月 27 日～9 月 29 日）
・開会式：主催者挨拶（中野正志国土交通大臣政務官）
高円宮妃殿下 お言葉

- ・ **基調講演**：27日 エリスト・フォン・ワイツェッカー（ドイツ連邦議会議員）
28日 山本良一（東京大学教授）
 ジヤム・レル礼（国際建築家連合会長、ブラジル）
29日 安藤忠雄（建築家）、リチャード・ロジャース（建築家、英国）
- ・ **学術発表**：8 カテゴリー（環境性能、評価、技術、ストック、地域・都市、当事者の役割、倫理、包括的アプローチ）、合計 20 分科会。
論文全 675 編（口頭発表 204 編、ポスター発表 471 編）
別紙 1（分科会の区分）参照
- ・ **特別セッション**：27日 地域会議セッション、学生セッション
27～29日 評価事例セッション
28日 IPCC（気候変動に関する政府間パネル）とサステナブル建築、教育セッション
- ・ **展示会**： 出展数 50 団体
- ・ **表彰**：**別紙 2**（SB05Tokyo 賞の受賞者リスト）参照
- ・ **大会宣言**：**別紙 3**（SB05Tokyo 宣言）参照
9月29日の閉会式にて、参加者により採択。

4. 特徴

地域会議との連携：2004年から2005年に世界7地域で地域会議(SB04)を共催。

ラテンアメリカ	2004年7月18 - 21日	ブラジル、サンパウロ
アフリカ	2004年9月13 - 17日	南アフリカ、シヨレボツツ
東アジア	2004年9月20 - 22日	中国、上海
中東欧	2004年10月27 - 29日	ポーランド、ワルシャワ
アラブ	2004年12月19 - 21日	エジプト、カイロ
東南アジア	2005年4月11 - 13日	マレーシア、クアラルンプール
地中海	2005年6月10 - 11日	ギリシャ、アテネ

途上国支援：地域間ギャップ解消のため、SB05Tokyo ファンドで合計 200 人の途上国からの参加費・宿泊費の支援を表明。さらに地域会議の開催経費の一部を支援。

学生の参加：世代間ギャップ解消のため、学生の参加を促進（会議前に 3 日間の学生セッションの実施、優秀学生論文の表彰等）。323 人の学生が参加（登録段階）。

分科会のテーマ：新しいテーマの設定（次世代技術、環境倫理等）。
従来のテーマの深化（省エネルギー、資源循環、建築環境評価ツール等）。

次回開催地：メルボルン市（オーストラリア）にて SB08 を開催することが決定（2008年）。

詳細は SB05Tokyo ホームページ (<http://www.sb05.com>)参照